

健康ウォツチング

東陽病院
院長
伊藤
文憲

大腸の病気（I）

横芝町の皆さん今日は。今

回は大腸のお話です。大腸は前回の小腸に続く管腔臓器です。小腸の最後である回腸と大腸の最初の盲腸との間には回盲弁（バウヒン弁）があり、大腸の内容物が逆流しないようになっています。盲腸の端には虫が垂れたと表現される虫垂があります。炎症を起こすと急性虫垂炎となり悪化すれば外科的切除となります。が、最近では早期に抗生物質の治療が行われて手術は減っています。

いと便秘や腹痛が起ります。いずれも毎日の生活に直結し、不規則になると体調が悪くなります。

大腸の病気には大きく分けると細菌による感染症、原因不明の炎症性腸疾患、ポリープや悪性腫瘍などの腫瘍性病変と腹部の手術や放射線治療などに続く癒着等の合併症による病気があります。

腸管の感染症は、衛生状態の悪い時代には流行し、多数の命が失われています。コレラ、赤痢、腸チフス等の急性感染症です。今でも海外旅行などにより感染する機会がありますので生ものには要注意です。慢性の感染症として、昔は大腸結核がありましたが、現在では稀です。最近の腸管感染症では0-157に代表される病原性大腸菌感染症が有名です。腎障害により

死亡例の報告もなされていま
す。夏場の食中毒の原因とし
ては腸炎、ビブリオによる感染

が時々見られます。臨床症状と便の細菌培養検査により診断され、脱水に対する十分な輸液と適切な抗生素質の投与

により完治します。

長老の張りある声や年の豆
無住寺の深き眠りや明哥ゆる

紺碧の空より注ぐ毎日を
ひとり占めして野の道をゆく
訪ひゆける師の玄関に手作りの
雛あまたが並びてゐたり

短歌



俳句	文芸	短歌
長老の張りある声や年豆 無住寺の深き眠りや月汎ゆる	浅野 茂子	紺碧の空より注ぐま蜃日を ひとり占めして野の道をゆく
列島は縞の着流し寒波来る 目に見えぬ程の芽立ちのはじまり	伊藤 敬子	訪ひゆける師の玄関に手作りの 雛あまたが並びてゐたり
日向ぼこうつりゆく日に移りかえ ベコニヤに日は燐燐と春近し	池田 逸子	自衛隊派遣発表の小泉首相 口元きりりと一の字に締む
明け方の夢冬萌えの野に居りぬ 座布団を日向に移す里神樂	岡田 雅美	嫌がる子を巧みにあやしまだ褒めて 髪を切りゆく老理髪師は
寒磯石の音して洗はるる 伴走車より白息の檄飛べり	勝又 和徳	花好きな戸村千代さん逝きし夜 賜はりし水仙咲き盛りみつ
畦道を走る子供ら虎落笛 猫の眼の爛々とあり冬の庭	寛	如月の雨は木木へのいくくしみ 太き根細き根動き始むや
雪あかり一筋通る鶴道 春隣り魚屋は演歌鳴らしくる	佐瀬 輝夫	ヘルパーにきれいな肌と褒められて 入浴の母はにかみいます
蘭玉や日の溜りゐる仏の間 向き合つて言葉をなくす霜の夜	鈴木 繁子	幸多き年であれかし福寿草 株増え花の多に咲きたり
大寒や朝の床ぬけしぶり勝ち 若梅あやめ	佐瀬 輝夫	夫君を手厚く看取りし師のみ歌 亡き夫介護の日々を思へり
幾坂を越え来し数年の豆 懐手しても思案はまとまらず	吉岡 信子	遊ぶ子の姿も見えぬ遊園地 夕日の影が地面這ゆく
梅梅いた風のたよりのこの日頃 若梅あやめ	吉岡 信子	母の病ひ氣遣ひくるる吾息一人 日に幾度も電話かねくる
選者 鈴木 草庵		